

## 商工經濟日誌

(自昭和二年一月一日  
至三月三十一日)

(二四八) 九〇

## 内國の部

一月一日(土) ▲昨年中對外貿易入超參億貳千九百萬圓

同 植民地貿易入超壹億壹千萬圓

同 對支貿易出超貳億五千貳百萬圓

▲健康保險法本日より實施。社會政策的立法として最も重要視せられたるものにして大正十四年四月二十二日法律第七十一號の健康保險法及十五年六月三十日勅令第二四十三號健康保險法施行令により本日より實施さる。

六 日(木) ▲株式の長期清算取引に關する早受渡制度の惡用につき當局は取引所に警告を發す

八 日(土) ▲昨年末現在正貨總額拾參億五千七百萬圓、昨年中に於て五千六百萬圓の減少

十五日(土) ▲絹紡績不況のため生産制限の議起る

十七日(月) ▲外務省はブラジルに於ける企業補助費貳百萬圓を追加豫算に計上するに決す

十八日(火) ▲第五十二議會再會

二十一日(金) ▲金融制度調査準備委員會に於て一圓紙幣整理のため新に五千萬圓の限度にて政府紙幣發行に決す

二十四日(月) ▲農林省發表大正十五年米收穫高五千五百五十九萬石、第二回豫想より百二十一萬石減前年實收より四

百萬石減

▲大藏省發表昭和元年末國債五十五億九千五百萬圓、内譯公債五拾壹億六千萬圓借入金四億參千萬圓。

二十五日(火) ▲貴衆兩院は明治節制定の建議案を可決す

▲金融制度調査準備委員會に於て減失兌換券整理案決す

二月一日(火) ▲金融制度調査會に於て公益質庫法可決さる。社會政策的立法の一にして一口貳拾圓以内一世帶百圓以内貸付利率は元金の百分一、二五を超へず

▲三井信託は配當率公表を中止す

三日(木) ▲米材關稅引上問題に對し船主協會反對す

▲勸銀調査二月一日現在株式利廻前月より壹厘參毛低下、債券利廻五毛五系低下

四 日(金) ▲運送計算協會加盟者は昨年十月六日の鐵道省裁定案に依る運送總括會社を設立し計算業務を合併することに決す

日(金) ▲東西組合銀行は共に預金利率を五厘方引下を正式に決す

五日(土) ▲大正十四年十月國勢調査に依る臺灣總人口數三九九萬人内内地人十八萬人を發表さる

七日(月) ▲本日より明日にかけ御大喪大儀行はせらる

九 日(水) ▲我國昨年中の勞働爭議件數千百五十五件前年より三百四十件増し

▲農林省の米穀委員會は本年度米穀不足対策として本月中旬より十月末迄外米輸入關稅免除に決す

十 日(木) ▲御大喪儀に際し慈善救恤のため御内帑金百五十拾萬圓を各地方に下賜さる

十一 日(金) ▲内務省より社會事業全國二百十二團體に對し獎勵金五萬參千五百圓交付す

十三 日(日) ▲銀行法案、公益質庫法案、土地收容法改正案議會へ提出さる

十八 日(金) ▲大阪市都市計畫事業債壹千萬圓起債認可さる  
▲砂糖の限產協定(期間一ケ年)成立す

▲一流手形の割引歩合壹錢六厘となり日銀公定歩合を下廻るに至つて日銀第三次利下期待さる

廿 一 日(月) ▲海外移住組合法案議會へ提出さる

廿 四 日(木) ▲兌換券整理法案議會へ提出さる  
▲重要工業助成のためアルミニウム工業に對し補助金年額五拾萬圓交付の旨閣議にて決す

▲一月中東京勞銀九厘低下(東京商業會議所調査)

廿 八 日(月) ▲憲政會と本黨の聯盟成立す

三月 一 日(火) ▲横濱取引所は本日發會の新甫七月限より生絲正量取引實施に決す

三 日(木) ▲十一月三日に明治節御制定の詔書發布さる  
▲政府部内は來る六月頃金解禁に内定す  
四 日(金) ▲震災手形法案眾議院通過

商工經濟日誌

▲爲替四十九弗の建値となる

▲二月中の大阪物價一齊に昂騰す

五 日(土) ▲昭和元年度鐵道事業費に充當の目的にて本月二十五日五分利國庫債券(第三十九回)千五百萬圓發行の旨當局より發表す

七 日(月) ▲奧丹後大震災に依り丹後縮緬業殆ど全滅す

八 日(火) ▲郵船會社は海運競争防止の意見書を經濟聯盟に提出す

九 日(水) ▲日銀第三次利下發表。利率は國債擔保と當座貸は壹厘、商業手形は貳厘とす

十四 日(月) ▲朝鮮臺灣兩銀行も亦壹厘乃至參厘の利下發表す

十五 日(火) ▲南滿洲鐵道會社本年度の鐵道收入は貨物増加と石炭輸送の激増に依り前年より七百萬圓増收にて總額壹億六百萬圓

十五 日(水) ▲東京渡邊銀行及あかち銀行休業す  
▲船舶金融に關する興業銀行の具體策成る

十八 日(金) ▲震災手形法案反對の國民大會東京に開かる

▲郵船會社司厨部員總罷業を始む

十九 日(土) ▲東京中井銀行休業す  
二十一 日(火) ▲村井、左右田、八十四、中濱の四銀行一齊に休業す

▲財界動搖のため官民銀行家日本銀行に會同して財界安定

## 第二卷 第二號

策決す

▲十九日より本日へ繰越の日銀貸出帳尻參千五百萬圓を増し一躍參億圓に上る

▲本日の日銀貸出高貳億參千五百萬圓にして一躍五億圓臺に達す

▲日本漁業労働總聯合創立さる

二十三日(火) ▲日銀貸出高六億を突破す

▲問題の震災手形法案附帶決議を以て貴族院通過

▲財界鎮靜す

二十四日(水) ▲昭和二年度總豫算拾七億五千八百萬圓成立す

二十六日(金) ▲商工省調査本年一月に於ける十三都市貨銀指數一分四厘低下

▲商工省の丹後縮緬業復興助成案成る。政府助成金五拾萬圓、低賃參百五拾萬圓

▲第五十二議會終了す、議會通過の經濟關係重要法案左の如し

土地收容法改正案、公益質屋法案、市町村義務教育國庫負擔法改正案、不良住宅法案、震災手形法案、兌換券整理法案、砂糖關稅及消費稅改正案、減價基金法改正案、土地賃貸價格調查委員會法案、銀行法案、商工會議所法案、計理士法案、國債整理基金特別會計法案、印紙稅法改正案、關稅定率法改正案、輸出絹織物取締法案、海外移住組合法案

(二五〇) 九二

握潰し又は否決されたるもの左の如し

労働組合法案、出版物法案、朝鮮木材關稅に關する件

九州製銅會社買收法案

三十日(水) ▲古河銀行と第一銀行の合併内定す

▲國債壹千萬圓抽籤償還四月末或は五月初と内定

三十一日(木) ▲臺灣銀行の整理委員會成る

## 外國の部

一月一日(土) ▲會審衙門(支那に於ける領事裁判特別機關)の授受主席領事と上海交渉員との間に行はる

二日(日) ▲ローマに經濟及文化事業促進のため日本協會設立さる

日(火) ▲漢口支那群集英租界を占領す

四日(木) ▲漢口支那軍隊英國總領事館を占領す

日(土) ▲北滿洲に於ける國貨排斥の形勢重大なる

十日(月) ▲決裂に瀕せる日露森林協定妥協成立し本日調印終る

▲北滿の國貨排斥は張作霖氏の命に依り中止さる

十一日(火) ▲獨逸帝國銀行は公定割引歩合を六分より五分に引下ぐ

十二日(水) ▲北京政府は大總統令を以て關稅附加稅實施を宣布す

▲漢口英租界事件につき英支交渉開始

十六日(日) ▲印度幣制改革法案印度議會に提出さる

十八日(火) ▲上海海關監督は各國領事に對し關稅附加稅實施の通告を發す。矢田總領事之に對し直に抗議を發す

二十一日(金) ▲漢冶萍煤鐵公司に對し新に預金部資金貳百萬圓融通の旨閣議にて決す

二十三日(日) ▲英國陸軍は對支出兵の命を發す

二十六日(水) ▲紐育株式取引所は今後世界の花形株をも上場することに決す

二十八日(金) ▲日支通商條約改訂交渉北京に開かる

▲英國は支那に對し關稅自主を承認し全支の租界を還附(管理に付ては條件付)する旨正式に通牒す

三十一日(月) ▲北京外交部は英國上海出兵に抗議をなす

▲北京政府は總稅務司アグレン氏を免職す

二月一日(火) ▲南支動亂のため我國對支貿易上海航路は積荷半減す

▲我國外務省は南北樺太に國際縱貫道路設定の勞農政府提議に賛成す

▲爲替の急騰に依り佛國財界混亂し遂にフランス銀行は公定割引歩合を六分五厘より五分五厘に引下ぐ

十日(木) ▲米國大統領は日英佛伊の四國に對し第二次海軍軍縮會議の提議をなす

十三日(日) ▲日本林業シンダクト團は沿海州の森林權を獲得す

十五日(火) ▲米國軍縮會議提案に對し佛國は拒絕の回答を發す

十八日(金) ▲日露油田協定正式に調印さる

十九日(土) ▲上海に工場及郵便局の總罷業起る

▲英支漢口協定成立し英國は三月十五日正式に租界を引渡すことに決す

二十日(日) ▲第二次軍縮會議開催の米國提案に對し帝國政府は應諾の回答を發す

二十一日(月) ▲伊太利首相は米國の提議拒絕の回答を發す

二十四日(木) ▲漢口に總罷業起り交通途絶す

二十八日(月) ▲第二軍縮會議に英國賛成の回答を發す

▲五月ジュネーブに開かるゝ第十四回國際勞働會議に派遣さるゝ各代表決定す

三月二日(水) ▲九江英租界無條件にて支那に還附さる

十五日(火) ▲露領水産組合は漁業交渉停頓に依り大體自由出漁の方針を決す

十七日(木) ▲東京市債二千萬ドル紐育にて成立す、利廻六分四厘八毛

二十一日(月) ▲支那南軍上海を占領す

二十四日(木) ▲南軍南軍を占領し列國居留民を掠奪す

二十五日(金) ▲モスコーに於ける日露漁業交渉にて取敢へず鯨蟹の出漁容認さる

二十七日(日) シヤム政府輸入關稅を上上げ即時施行す、我國

のビール及綿糸布業の影響大なり

## 香川縣の部

一月二日(日) ▲坂出町小作爭議圓滿解決し小作五百名盡く振

農自治組合に加入す

五日(木) ▲小島熱について養蛙事業流行し參拾圓見當の

親蛙一番五百圓臺に騰る

十一日(火) ▲縣當局は琴平銀行の内容調査に着手す

▲坂出琴平間の琴平急行電鐵三月頃より着工豫定

十七日(月) 仁尾町の南海舍密工業會社株式募集に着手

▲縣下小島熱極度に達し飼養總數六十萬羽投資金八拾四萬

圓

二十一日(金) ▲高松驛所屬鐵道公認運送店の合同具體化し資

本金拾萬圓の高松運送合同株式會社組織に決す

▲高松長尾間定期自動車開通す

二十二日(土) ▲岡山第一合同銀行頭取大原孫三郎氏は琴銀整

理引受を拒絶す

二十四日(月) ▲愛媛縣今治市に本店を有する今治商業銀行休

業す

▲昨年度縣下實收米八十七萬四千四百石、前年より二萬五

千石減少す

三十日(日) ▲綾歌郡飯野村では麥作の次に米國種煙草其次

に米作の二毛作に成功す

▲縣兵事課調查本年度縣下壯丁數七千六百人にして前年より七百名を増す

三十一日(月) ▲東京市に本店を有する共榮貯金銀行丸龜代理

店休業を發表す、其他愛媛縣に於ける同行支店及代理店亦一齊に休業す

▲琴平銀行取締役會に於て和議申請に決す

二月四日(金) ▲小島市場取締の目的を以て縣當局は續賣禁止

の縣令を發し十五日より實施

▲農民組合金藏寺支部員の大部分は同派を敗退す

十三日(日) ▲高松にて萬年青の大會開かる

十八日(土) ▲本日より五日間屋島山にて融和事業講習會開

かる

二十日(月) ▲香川縣組合銀行總會に於て三月一日より預金

利率壹厘の利下を決議す

▲高松信用組合及各貯蓄銀行各々預金利下三月一日より實

行の旨發表す

三月五日(土) ▲高松市會は大波瀾の裡に家屋稅可決

六日(日) ▲綾歌郡南都地方は麥稈真田の不況により養蠶

に力を注ぐ

八日(火) ▲高松市廳舍新築工事着手、本年十一月末竣工

十日(木) ▲丸龜信用組合は預金利下發表、定期六分五厘

十五日(火) ▲高松琴平間二十哩電車開通す

▲本縣下工場數昨年末現在三百九十四、昨年中に新設され

しもの百九十七

十九日(土) ▲本縣水産試験場調査目下飼養中の食用親蛙二千二百尾、おたまじやくし十二萬尾

二十一日(月) ▲木田郡前田村日本農民組合支部員は同組合を

脱退し振農自治組合に加入す

二十四日(木) ▲大川郡長尾町地主側土地返還の訴訟提起す

二十六日(土) ▲琴平銀行破綻に依り百四拾萬圓の預金を有する縣產業組合は聯合して共榮貯金の制を建て十ヶ年間に

缺損補償の旨決す

▲倉敷紡績松山工場に罷業起る

二十七日(日) ▲琴銀頭取石田甚吉氏業務横領背任罪にて起訴さる

二十八日(月) ▲満濃池改修工事起工式舉行さる

▲引田町と仁尾町沖に初鯛掛る

▲佛生山町小作爭議に對し地主は茶話會を組織す

### 國際經濟會議の議案

本年五月四日ジュネーヴに開催される國際會議の議題は次の如し

#### 第一部 世界の經濟的形勢

各國の立場より見たる主要の事項及問題

商工經濟日誌

現に商工業の均勢を害する經濟的原因の分析  
世界の平和に影響するの恐れある經濟上の傾向

#### 第二部

##### 一、商 業

###### (一)通商の自由

イ、輸出入の禁止及制限

ロ、通商の制限、拘束、獨占

ハ、他國領土に定住するを許されたる個人及會社の經濟的及財政的待遇

###### (二)關稅及通商條約

國際商業の障害

イ、關稅の形式稅率及不安定

ロ、關稅の種目及分類

###### (三)商業及海運の間接保護

イ、直接及間接補助金

ロ、ダンピング及其防止規定

ハ、運送の條件より生ずる差別待遇

ニ、外國品に對する國庫の差別待遇

###### (四)購買力減退の外國貿易に及す影響

##### 二、工 業 (細目省略)

##### 三、農 業 (細目省略)

## 商工經濟研究室現在職員氏名

(昭和二年四月)

代表者

校長 文學士 隈本 繁吉

主 事

常務主事

教授 商學士 木村 元治

調査主事

教授 商學士 松崎 實次

委 員

商業研究部

教授 バチエラ、イ、オ  
エラ、イ、オ、ス、コ、  
ム、イ、エ、ル、ス 中村賢二郎

同

教授 商學士 久川 武三

同

教授 商學士 大泉 行雄

經濟研究部

教授 經濟學士 堀江 邑一  
(在外留學中)

同

教授 商學士 松崎 實次

同

教授 經濟學士 小川福太郎

經營及管理  
研究部

教授 根岸 正一

同

教授 鎌田恭一郎

同

教授 商學士 岩井 茂

法律研究部

教授 法學士 古川 邦彦

同

教授 法學士 宇喜多 晋太郎

商品研究部

教授 工學士 椎名 七郎

同

講師 阿部 久次

地理及經濟  
事情研究部

教授 文學士 寺田 貞次

同

教授 商學士 木村 元治

同

助教授 栗山 茂

同

助教授 岡田 峻

數理及統計  
研究部

教授 理學士 北條 時重

商業教育研究部

教授 文學士 矢田 篤

同

教授 文學士 清水谷隆寛

事務囑託

講師 經濟學士 本田 忠雄

調查囑託

國井 俊次

同

吉田 忠次